



2025 年度全日本学生ボードセーリング選手権大会

レース公示

期日：2025 年 11 月 14 日(金)～16 日(日)

開催場所：沖縄県国頭村字奥間海岸（オクマプライベートビーチ&リゾート）

----共同主催----

一般社団法人日本ウインドサーフィン協会

日本学生ボードセーリング連盟

----公 認----

公益財団法人 日本セーリング連盟

(承認番号：2025-54)

----協 力----

オクマプライベートビーチ&リゾート

国頭漁業協同組合

沖縄ロジテム（株）

日新航空サービス（株）

----協 賛----

Take Outdoors Japan

(株) ワンストップエージェンシー

(株) オレンジパオ

エンタープライズジャパン (株)

< レース 公 示 >

1. 適用規則

- (1) 国際セーリング競技規則 2025-2028 および付則 B（以下規則という）に定義された規則を適用する。ただし、下記で修正・追加したものは除く。
- (2) テクノクラスルールにて規定されているエキップメントの使用のみが許可される。
- (3) 各規則と矛盾がある場合は帆走指示書を優先する。

2. 広告

主催団体により選択され提供された広告を表示するよう要求することがある。

3. 参加資格

- A) 2025 年度日本セーリング連盟の会員。
- B) 2025 年度日本ウインドサーフィン協会の会員。
- C) 2025 年度日本学生ボードセーリング連盟の会員。
- D) 日本学生ボードセーリング連盟の各支部予選レースにて出場資格を取得した者。
- E) 昨年度の本大会にて、男子 10 位、女子 6 位以内の成績の者。
- F) 未成年者に於いては、保護者が参加への責任を持つ事に同意をしている者。
- G) 自己および第三者への賠償を保証できる保険に加入している者。
- H) 所属する大学より、本大会への参加および遠征の許可が公式に得られている者。
- I) 本大会に於いては、メンズ、ウイメンズのクラス分けのみ行う。

4. 参加料等及び参加申し込み方法等

(1) 大会エントリー費用

20,000 円

※申込期限以降のエントリーの場合はレイトエントリーフィー3,000 円が別に必要です。

※関東・関西の大学はエントリー費に加え、コンテナ代 29900 円も振り込むこと。

(2) 参加申し込み・参加料の支払い方法

参加申込書に必要事項を記入の上、既定の期日までに提出。

5. レーススケジュール

(1) 日程

11 月 13 日

10 : 00 ~ 11 : 00

インスペクション

15 : 30～17 : 00	レジストレーション
11 月 14 日	
9 : 35	開会式・ブリーフィング
10 : 55	第 1 レースの予告信号時刻
	レース数 : 1 日最大 4 レース
11 月 15 日	
9 : 55	その日の最初のレースの予告信号時刻
	レース数 : 1 日最大 4 レース
11 月 16 日	
9 : 55	その日の最初のレースの予告信号時刻
	レース数 : 1 日最大 3 レース
18:30	表彰式・閉会式
11 月 17 日	エキップメント積込 解散

(2) 最終日のレース予告信号は 15 : 30 以降に発せられることはない。

6. エキップメント

(1) 大会期間中計測を実施する場合がある。

(2) エキップメント類は、認可製造者の製品である事（シリアル番号等）を判読できる状態にしておかねばならない。

(3) セールナンバー

参加選手はセールナンバーを、規則付則 G、規則 77、クラスルール、学連規定に従って表記するものとし、大会参加後に於いても表記違反が確認された場合は、本大会の全てのレースを DNC とされる。

7. 帆走指示書

帆走指示書は大会当日の掲示板、もしくはレジストレーション時に入手できる。

8. レースエリア

レースを行う海面は、オクマリゾート沖合とする。

9. コース

レース当日の海面状況により決定される。

10. レース回数

- (1) 3 日間で最大 9 レース行う。
- (2) 最低 1 レースをもって大会成立とする。

11. 賞・表彰

メンズクラス各 1 位～10 位

レディースクラス各 1 位～6 位

12. 抗議と救済要求

本大会では付則 T（調停）が適用される。詳細は帆走指示書に記載される。

13. 安全規定

- (1) 海上にいる間、すべての競技者は個人用浮揚用具（ライフジャケット）を着用しなければならない。この項は第 4 章前文及び規則 40 を変更している。
- (2) レース委員会は、帆走不能もしくは危険な状態にあると判断した場合は、リタイアを命じることができる。この項は規則 3 を変更している。ただし、救済の根拠とはならない。

14. サポートボート

- (1) サポートボートは、レース初日の最初の予告信号 60 分以前に陸上本部にて登録受付をしなければならない。
- (2) サポートボートはレスキューボートとみなされ、以下の条件を満たす場合のみ使用が許可される。
 - A) 事前に大会事務局に現地航行ルール及び出艇場所等の条件を確認し、その指示に従うこと。
 - B) 平常時はサポートボートとして航行範囲の制限を守り、レース委員会からレスキューボートとしての要請があれば、いつでもこれに応じること。この要請があった場合のみ制限範囲内への進入を認める。
 - C) サポートボートは、事前にヨットモータボート保険（対人対物賠償責任保険及び搭乗者傷害保険）に加入していること。
 - D) サポートボートはレース委員会よりサポート艇フラッグを受け取り掲揚しなければならない。

15. 責任の否認

この大会の競技者は自分自身の責任で参加する。規則 3「レースすることの決定」を参照。主催団体は、大会の前後・期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

16. 承諾事項、その他

- (1) クラスルールは<<https://www.sailing.org/classes/techno-293#Document>>を参照。

- (2) 天候コンディション等により中止となった場合でも、参加料の返還はしないものとする。
- (3) 当日、気象警報などが出た場合は中止とする。
- (4) 必ずスタッフの指示に従うこと。
- (5) 競技に参加するための道具は各自用意すること。
- (6) 自分の体力と当日の体調を確認し、各自の判断にて出場すること。
- (7) 浮力体を必ず各自用意しておくこと。
- (8) 選手の氏名、所属、順位等については、各種メディア等に掲載する場合があることを参加者は承諾する。
- (9) 大会期間中の選手に関する動画、スチール写真および撮影された映像、記録、フィルムまたはその製版の制作、使用および時々の展示について、無償で主催団体に独自の判断で使用する永久的な権利を自動的に与えるものとする
- (10) ごみを投棄しないこと。

17. COVID-19 感染対策について

コロナウイルスが 5 類感染症に移行したとは言え、感染が未だ落ち着いたとは言えない中での大会開催ということから、選手を含む関係者全員に安全にウインドサーフィンを行える様々な仕組みを考えることを求める。大会関係者は、以下の項目を遵守し安全に配慮して競技を行うこととする。

- 1 本大会は、以下の項目が一つでも当てはまる場合、中止とする可能性がある。
 - A) 大会期間中に COVID-19 と思われる症状を訴える選手が見つかった
 - B) 参加選手が国内の COVID-19 感染者の濃厚接触者であると発覚した
 - C) その他、大会の開催によってクラスターが発生し得る状況になった
- 2 本項で要求される内容全てを大会に出場する選手は遵守しなければならず、これに違反した選手あるいは大学は運営の定めるペナルティを履行する。
- 3 イベント開催前後 1 週間以内に COVID-19 感染症を発症した場合は、速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- 4 各自、手洗い等の手指衛生などを行い、感染防止に努めること。

18. 中止基準

以下に示す場合は、直ちにレースを中止する。

- (1) 平均風速 12m/s 以上、波高 1.5 メートル以上、視程 1500m 以下
- (2) レスキュー艇の故障等不測の事態発生により、大会責任者において安全なレース運営ができないと判断した場合
- (3) 出場選手において、重大な事故が発生した場合
- (4) 各種の気象警報が発令している場合
- (5) その他、各責任者において、安全なレース運営ができない何らかの理由を認め、当該報告を受けた大会責任者が安全なレース運営ができないと判断した場合

添付 1 予定レース海面

